

一月二十二日 敵機空襲 戰鬥要報 第三十三軍

目次

- 一、敵機未襲前、狀況ト之ニ基テ各部隊ノ處置
- 二、天候氣象ノ概要
- 三、敵機未襲狀況ト我々邀撃戰鬥狀況
- 四、沖繩本島地区
- 五、其、他、地区
- 六、敵機ノ機種機數及攻襲法
- 七、敵潜水艦ノ狀況
- 八、戰果
- 九、我方ノ損害ノ概要
- 十、射耗彈ノ概數
- 十一、官民ノ治安狀況

一、敵機未襲前、狀況ト之ニ基テ各部隊ノ處置

一軍、昨二十日日本島ニ未襲セル敵機動部隊

ノ動靜及更ニ左記情報ヲ綜合シ引續キ

對空警戒ヲ嚴シニ邀撃態勢ヲ遺感ナカ

ヲレム

左記

ハ二十日一五一五現在台北基莫一四口度

三五口科ニ航空母艦三戰艦ニ乃至三

基幹トスル各ニ口隻ノ三群ヲ以テ何レモ
群毎ノ小輪型陣ニテ間隔約五料ヲ保
持シツ、進路三四口度速度一五乃至二口節
ヲ以テ進行中ナリ 輸送船ヲ認メス
二十一日ニ口五宮古地区敵艦載機ノ攻襲
ヲ受ケツ、アリ

ニ各部隊ノ状況

電波警戒隊ハ次期未罷衰ヲ予想シ警戒
成ヲ嚴ニシ高射部隊又昨日ノ戰鬥ニ
手厚ク志氣益々旺盛ニシテ敵機必墜ニ
燃ハ激速準備全ク整正ヲ

爾余ノ部隊ハ丙号戰備ニ準ジシ激速準備
備及軍需品建造物等ノ偽裝秘匿等
補強ス

二 天候気象、概要

南西諸島全地区トモ概不晴天 ニシテ雲量

(六内外雲層ハ層積雲ヨリ米高層雲ニヨリ米)

ハ二層ヲナシ南東ノ風四米内外ナリ

三 敵機来襲状況ト我カ邀襲戦斗状況

ハ沖繩本島地区

ヨ六一〇海軍電波警戒機先ヲ與座岳

基点一三五度九〇料ニ敵編隊群(七目

標)本島ニ向ヒ近接中ナルヲ探知ス

軍ハ〇六三五沖繩本島地区ニ対シ空襲衣

警報ヲ發令シ邀襲準備ヲ整ヘ待機

ス〇六五〇第一波約一〇機各飛行場ニ

侵入シ爾後八機ニ目ヲ定メ七機ヲ射テ飛行

場及附属建物船舶ヲ及復銃爆雲ヲ

實施ス尚一部ハ集団部落ヲ攻撃ス

高射部隊ハ數次ニ巨ル敵機ノ跳梁ノ下

志氣極メテ旺盛冷靜、裡ニ熾烈ナル火網

ヲ集中シ雲墜46機雲破38機ノ赫々タル

戦果ヲ收メタリ

一三〇敵機本島周辺ヲ離脱セルヲ以テ空襲警報
ヲ其ノ他ノ地ニ又

一九三五敵小數機本島ニ近接セルヲ探知シ
敵十機内外ヲ以テ

直々ニ空襲警報ヲ發令シ小島附近ヲ盲爆
シタル後南方ニ脱去ス 應戰セズ

二〇五〇敵機ノ近接ヲ以テ空襲警報

報ヲ解除ス

五六五及TBF、SBRCLノ艦上戰鬥機

及艦上爆雲機ニシテ目標ニ對シ高度

約一五〇〇米ヨリ一機宛、急降下銃爆

雲ヲ實施ス 沖縄本島東端機延

七〇機ニシテ爆彈ハ五〇ク隣発及口ケット

高射部隊ハ數次ニ亘ル敵機ノ跳梁ノ下
志氣極メテ旺盛冷靜ノ裡ニ熾烈ナル火網
ヲ集中シ雲墜46機雲破38機ノ赫々タル

戦果ヲ收メタリ

一、三〇敵機本島周囲ヲ離脱セルヲ以テ空襲警報
ニ其ノ他ノ地区ニ解除シ次後ノ戦斗ニ備ヘテ

各離島トモ少數機ヲ以テ飛行場船

舶ニ対シ攻撃ヲ受ケタルモ目下詳細

不明ナリ

四、敵機ノ機種機數裝備及攻撃法

「A六E」及「B五」、「S B 2 C」ノ艦上戦斗機

及艦上爆雲機ニシテ目標ニ対シ高度

約一五〇〇米ヨリ一機宛、急降下銃爆

雲ヲ實施ス 沖繩本島東部機延

十〇機ニシテ爆弾ハ五〇kg 瞬発及口ケツト

爆彈ヲ投下ス

五潜水艦ノ状況

敵機未襲間沖繩本島南半部、

東西海面陸岸ニ近ク浮上行動シアリ

テ墜落機搭乗員、救助ニ任ジアルモノ

、如シ

六戦果（沖繩本島ノミトス）

雲隊四六機 雲破三八機

七我方ノ損害、概要左ノ如シ（沖繩本島

ノミトス）

戦死 下士官兵一八 軍属六

戦傷 將校一 下士官兵五八 軍属六

2. 馬匹死傷各一頭

3. 建造物

兵舎八棟 〃他、住家約二〇の火炎上

4. 飛行場

滑走路 被害ナシ 誘導路 三箇所被弾

5. 其他

自動貨車三台上 燃料若干焼失

飛行機二機炎上

5. 船舶

輸送船三隻、機帆船一六 大発三沈没

ハ射耗彈ノ概數左ノ如シ

ハ高射砲彈

二七八三發 (残彈二六七八五發)

2. 機関砲彈

三三四一發 (残彈三三四四六發)

九官民治安狀況

未裝機數延七〇〇機ニシテ執拗ヲ極

メタルニ主トシテ軍事施設ニ其ノ攻撃ヲ指

向シタルヲ以テ人員家居等若干ノ被害

アリタルモ縣側ト協力シ民心ノ動搖ヲ

防止シ得テ冷靜ニ行動シテ治安上

何等憂慮スルキ事象ナシ

火船ニ包マレテ落下スル機上概テ先

セサル結果ノ發見ハ民心ノ安定感ヲ

一層有效ナラシメタリ